

活 用 技 術

平成 24 年度

新潟県における良品質黒大豆「華大黒」の品種特性		
〔要約〕黒大豆「華大黒」は、裂皮が少なく、煮豆に加工した場合の外観が優れる <u>中生の品種</u> である。		
農業総合研究所作物研究センター 栽培科	連絡先	TEL 0258-35-0836
農業総合研究所食品研究センター 穀類食品科 園芸特産食品科		FAX 0258-35-0021
		TEL 0256-52-3238
		TEL 0256-52-3240
		FAX 0256-52-6634

〔背景・ねらい〕

新潟県では黒大豆品種として「信濃早生黒」が主に栽培されているが、近年、裂皮粒の発生が著しく、生産者からは裂皮の少ない新たな黒大豆品種が求められていた。そこで本県に適した良品質黒大豆品種を選定し、県内への普及を図る。

〔成果の内容・特徴〕

「華大黒（系統名：東山黒 215 号）」は平成 9 年に長野県中信農業試験場（現、長野県野菜花き試験場）において、「信濃早生黒」を母、「玉大黒」を父として育成された系統である。以下に新潟県における「信濃早生黒」と比べた特性を示す。

- 1 開花期は約 2 日早く、成熟期は同日から 4 日程遅い中生品種である（表 1、2）。
- 2 主茎長及び主茎節数は並で、分枝数はやや多い。最下着莢高は低いが 10cm 以上の高さである（表 1）。
- 3 百粒重は並、坪刈り収量は並～やや大きい（表 1、2）。
- 4 裂皮粒及びしわ粒が少なく、外観品質が優れる。またダイズモザイクウイルスに対する抵抗性が強く、抵抗性の判定は「強」である（表 1）。
- 5 煮豆に加工した場合は、色・外観が優れ、食味はほぼ同等である（表 3）。

〔成果の活用面・留意点〕

- 1 栽培方法は「エンレイ」に準じる。
- 2 ダイズモザイクウイルス抵抗性は強であるが、病害虫防除は必ず行う。
- 3 種子の生産販売を行うには、育成者と種苗法に基づく許諾契約を結ぶ必要がある。

[具体的データ]

表1 「華大黒」の特性概要(平成18～22年 長岡市・作研5月下旬播種)

品種名	開花期 (月.日)	成熟期 (月.日)	生育障害			主茎長 (cm)	主茎節数	分枝数 (本/株)	最下着莢高 (cm)	有効莢数 (/㎡)	百粒重 (g)	病虫害抵抗性		障害		外観品質
			倒伏	ウイルス	立枯							ウイルス	シスト	皮粒	しわ粒	
華大黒	7.21	10.10	無	無	微	56	13.2	4.9	12	505	39.4	強	弱	微	少	中上
標)信濃早生黒	7.23	10.10	無	無	微	53	13.7	4.5	15	476	38.1	中	弱	中	中	中下
参)エンレイ	7.23	10.09	微	無	微	56	13.9	4.6	12	637	30.7	中	弱	少	少	中上

注1)生育障害、および粒の障害は、無、微、少、中、多、甚の6段階評価。

注2)病虫害抵抗性は育成地における検定結果。

注3)品質は、上上、上中、上下、中上、中中、中下、下の7段階評価。

注4)栽植密度8.9本/㎡による調査結果。

表2 「華大黒」の県内各地における成熟期と収量

項目	品種名	長岡市・作研		津南町	佐渡市	村上市	上越市
		標播転換畑	晩播普通畑	高冷地農技	佐渡農技		
成熟期 (月.日)	華大黒	10.10	10.20	10.06	10.17	10.19	10.07
	標)信濃早生黒	10.10	10.16	10.03	10.16	10.17	10.07
	参)エンレイ	10.09	10.14	10.08	10.12	10.15	10.10
坪刈り 収量 (kg/10a)	華大黒	292	257	419	277	323	282
	(標準対比,%)	(108)	(103)	(109)	(94)	(104)	(109)
	標)信濃早生黒	271	251	382	297	311	260
	参)エンレイ	320	261	417	321	296	286

注1)播種日は5月下旬～6月上旬(作研の晩播は6月20日)。

注2)調査年次は 長岡市:平成18～22年、津南町:平成18～19年、佐渡市・村上市・上越市:平成18～20年。

注3)栽植密度は、長岡市標播転換畑:8.9本/㎡、長岡市晩播普通畑:16.7本/㎡、津南町:13.4本/㎡、佐渡市:8.9本/㎡、村上市、9.5本/㎡、上越市:8.9本/㎡。

表3 煮豆の食味官能評価(平均順位点) (平成19～21年)

品種名	色・外観	食味
華大黒	1.92	2.27
標)信濃早生黒	2.95	2.29

注1)平均順位点は複数のパネルから順位(1位～3位)を付け、平均値を算出。数値が低いほど良評価。

[その他]

研究課題名：大豆系統適応性検定試験

大豆奨励品種決定調査事業

予算区分：県単経常

研究期間：平成18～22年度

発表論文等：平成22年度関東東海北陸農業研究成果